

《資料》

総合商社のロンドン支店における  
日本人駐在員の労働と生活に関する意識調査結果

守 屋 貴 司

本調査は、1995年9月に総合商社上位9社のロンドン支店の日本人駐在員を対象にアンケートを送付し、3社より解答を得た。3社より得た回答総数は45人であった。この解答数は、3社のロンドン店の日本人駐在員の約半数を占めている。

I. プロフィール調査

1. 現在の年代についてお書き下さい。(NA. 45)

- ① 20代—2 (4%)
- ② 30代—19 (42%)
- ③ 40代—19 (42%)
- ④ 50代—5 (11%)

2. 現在の役職についてお書き下さい。(NA. 45)

- ① 支店長—2 (4%)
- ② 副支店長—0 (0%)
- ③ 部長—10 (22%)
- ④ 課長—22 (49%)
- ⑤ 課長代理—2 (4%)
- ⑥ 主任—1 (2%)
- ⑦ 一般事務・営業—5 (11%)
- ⑧ その他—3人(子会社社長2人, 次長1人) (7%)

3. 現在の駐在時の家族形態についてお教え下さい。(NA. 45)

- ① 独身で、単身赴任—2 (4%)
- ② 子供はまだいないので、妻と駐在—6 (13%)
- ③ 妻子すべてを日本に残し単身赴任—3 (7%)
- ④ 子供全員を日本に残し妻と駐在—6 (13%)
- ⑤ 子供の一部を日本に残し妻子と駐在—1 (2%)
- ⑥ 妻子すべてと駐在—27 (60%)
- ⑦ その他—0 (0%)

4. これまでの海外駐在回数(今回を含めて)をお答え下さい。(NA. 45)

- ① 1回—25 (56%)
- ② 2回—13 (29%)
- ③ 3回—6 (13%)
- ④ 4回—1 (2%)

II. 労働・生活意識調査

1. 派遣期間に関して明示がありましたか。(NA. 45)

- ① あった—37 (82%)
- ② なかった—8 (18%)

2. 国内の給与水準より海外勤務時の給与水準の方が実質的に高く感じましたか。(NA. 45)

- ① はい—30 (67%)
  - ② いいえ—5 (11%)
  - ③ 国内の給与水準も海外勤務時の給与水準も実質的に同じに感じた—8 (18%)
  - ④ わからない—2 (4%)
3. 海外駐在時において、日本より仕事の内容が豊富になりましたか。(NA. 45)
- ① なった—39 (87%)
  - ② いいえ—2 (4%)
  - ③ どちらでもない—4 (9%)
4. 海外駐在時において、日本より権限が広がりましたか。(NA. 45)
- ① 広がった—38 (84%)
  - ② かわらない—4 (9%)
  - ③ せばまった—3 (7%)
  - ④ わからない—0 (0%)
5. 海外駐在において、日本より仕事の自由裁量の部分が広がりましたか (NA. 45)
- ① 広がった—38 (84%)
  - ② かわらない—4 (9%)
  - ③ せばまった—2 (4%)
  - ④ わからない—1 (2%)
6. 現在の海外駐在時に送迎業務や接待業務が、週(もしくは月)平均何回ありましたか (NA. 45)
- ① 週1回以下(月4回以下)—26 (58%)
  - ② 週1回(月4~5回)—11 (24%)
  - ③ 週2回(月5~10回)—8 (18%)
  - ④ 週3回(月10回以上)—0 (0%)
7. 海外勤務地で子弟をどのような教育機関に通わせていましたか  
解答あり—(NA. 30) (複数回答)
- ① 日本人学校—8 (27%)
  - ② 現地の学校—14 (47%)
  - ③ 現地の学校と日本人補習校—13 (43%)
  - ④ 日本人学校と日本人補習校—0 (0%)
  - ⑤ 不解答—15

不解答のうちわけ……

- ア. 子供がまだいない—5
- イ. 妻子日本—3
- ウ. 子供日本—3
- エ. 学齢児童なし—2
- オ. 独身—2

8. 海外勤務地の教育環境・受け入れ体制についてお答え下さい。

解答あり—(NA. 33)

- ① 非常に満足—3 (9%)
- ② 満足—16 (48%)
- ③ どちらでもない—11 (33%)
- ⑥ 不解答—12

9. 現在の海外駐在時において子供の学力が日本にいる子供より遅れをとってしまうのではないかと不安は、ありますか。

解答あり—(NA. 33)

- ① はい—23 (70%)

- ④ 不満—3 (9%)  
 ⑤ 非常に不満—0 (0%)  
 ② いいえ—10 (30%)  
 ③ 不解答—12
10. 子供の日本への帰国後、教育に関して以下の不安を感じませんか  
 解答あり—(NA. 31) 複数回答  
 ① 帰国子女の受け入れ体制—17 (55%)  
 ② 国語(作文)、日本語の勉強—11 (35%)  
 ③ 日本の社会科(歴史・地理等)の勉強—3 (10%)  
 ④ 日本の学校の規則、きまりになじめないのでは……—10 (32%)  
 ⑤ 日本人の友達つきあい—10 (32%)  
 ⑥ その他—1 (3%)  
 ⑦ 不解答—14
11. 海外(英国)で、子弟を学ばせてよかった点としては、どのような点がありますか。  
 解答あり—(NA. 30) 複数回答  
 ① 子弟の語学(英語)の上達—20 (67%)  
 ② 子弟が異文化を知ることができた—25 (83%)  
 ③ 日本の受験競争に巻き込まれず、子弟が伸び伸び生活できた—7 (23%)  
 ④ その他—0 (0%)  
 ⑤ 不解答—15
12. 海外駐在を通して、よかった点は何ですか (NA. 45) 複数回答  
 ① 国際感覚を身につけることができた—25 (56%)  
 ② 海外生活をエンジョイすることができた—30 (67%)  
 ③ 権限が広がり、仕事にやりがいをもてた—23 (51%)  
 ④ 海外駐在を通して、新しい知人が増えた—21 (47%)  
 ⑤ その他—0 (0%)
13. 帰国後、適切なポストがないのではないかと不安はありませんか (NA. 45)  
 ① ある—14 (31%)  
 ② ない—17 (38%)  
 ③ どちらともいえない—14 (31%)

あると解答した人の年齢別・職位別うちわけ (NA. 14)

- ア. 50代支店長—1 (7%)  
 イ. 50代部長—1 (7%)  
 ウ. 50代課長—1 (7%)  
 エ. 40代部長—4 (29%)  
 オ. 40代課長—4 (29%)  
 カ. 40代子会社社長—1 (7%)  
 キ. 30代係長—1 (7%)

ないと解答した人の年齢別・職位別うちわけ (NA. 17)

- ア. 40代部長—2 (12%)  
 イ. 40代子会社社長—1 (6%)  
 ウ. 40代課長—1 (6%)  
 エ. 30代課長—9 (53%)  
 オ. 30代係長—1 (6%)  
 カ. 30代一般事務営業—2 (12%)

どちらともいえないと解答した人の年齢別・職位別うちわけ (NA. 14)

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| ア. 50代支店長—1 (7%) | オ. 30代課長—3 (21%)     |
| イ. 50代部長—1 (7%)  | カ. 30代一般事務営業—2 (14%) |
| ウ. 40代部長—2 (14%) | キ. 20代課長—1 (7%)      |
| エ. 40代課長—3 (21%) |                      |

14. 日本への帰国後の不安点について感じておられる点に丸をおつけ下さい。(NA. 37) 複数回答

- ① 社内の最新情報に疎くなっているのでは……。—11 (30%)
- ② 日本での仕事の進め方になじめないのでは……。14 (38%)
- ③ 海外での経験が役に立たないのでは……。—2 (5%)
- ④ 社内の人脈が薄くなるのでは……。—3 (8%)
- ⑤ 責任・権限が縮小するのでは……。—10 (27%)
- ⑥ 昇進が遅れるのでは……。—1 (3%)
- ⑦ その他—7 (19%)
- ⑧ 不解答—8

その他のうちわけ (記入欄の内容を整理)

- |  |
|--|
| ア. 特になし—3                                    |
| イ. 不安なし—1                                    |
| ウ. 適切なポストがあるか不安—1                            |
| エ. 新聞・テレビのニュースではおぎなえない部分で<br>浦島太郎になるのでは……。—1 |
| オ. 海外駐在を経験することにより、プラス点とされる方が<br>圧倒的に多い—1     |

15. 日本人ビジネスマンの国際化・国際交流のために必要なことは何であると思いますか

(NA. 45) 複数回答

- ① 異文化への理解—28 (62%)
- ② 日本文化・歴史の知識の取得—9 (20%)
- ③ 英語の運用力と論理的自己表現—28 (62%)
- ④ 地域社会への参加—16 (36%)
- ⑤ その他—4 (9%)

その他のうちわけ (記入欄の内容を整理)

- |  |
|--|
| ア. ナショナル・スタッフの意見を聞く—1                      |
| イ. 日本だけでなくどこでも通用する考え方を身につける—1              |
| ウ. まずは常識人であること—1                           |
| エ. 国際化とは特別な事がらではなく、相手の立場を理解しようとする態度をとること—1 |

16. 日本への帰国後、海外駐在を再び希望しますか (NA. 45)

- ① 派遣地域・処遇にかかわらずぜひ行きたい—6 (13%)
- ② 派遣先の地域によっては行きたい—22 (49%)
- ③ 派遣地域の地位や処遇がよければ行きたい—18 (40%)
- ④ 派遣地域・処遇にかかわらず行きたくない—2 (4%)
- ⑤ その他…まだわからない—2 (4%)